

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公開番号】特開2018-139906(P2018-139906A)

【公開日】平成30年9月13日(2018.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-035

【出願番号】特願2017-36146(P2017-36146)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月28日(2020.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動源による動力か又は遊技者による操作力かの少なくとも一方を受けて第1方向の一方側に移動可能な第1可動部材と、

前記第1可動部材から前記動力を受けて、前記第1方向の一方側に移動可能な第2可動部材と、

前記第1可動部材及び前記第2可動部材の一方の部材に回動可能に連結されて第1位置と第2位置との間を回動する回動部材と、

前記第1可動部材及び前記第2可動部材の他方の部材と前記回動部材とに設けられ、前記回動部材が前記第1回動位置に配置されたときには、互いに平行になって当接して前記動力を伝達する一方、前記回動部材が前記第2回動位置に配置されたときには、互いに非平行になって当接困難になり、前記動力の伝達を遮断する動力伝達面と、を備える遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

第1の手段は、駆動源による動力か又は遊技者による操作力かの少なくとも一方を受けて第1方向の一方側に移動可能な第1可動部材と、前記第1可動部材から前記動力を受けて、前記第1方向の一方側に移動可能な第2可動部材と、前記第1可動部材及び前記第2可動部材の一方の部材に回動可能に連結されて第1位置と第2位置との間を回動する回動部材と、前記第1可動部材及び前記第2可動部材の他方の部材と前記回動部材とに設けられ、前記回動部材が前記第1回動位置に配置されたときには、互いに平行になって当接して前記動力を伝達する一方、前記回動部材が前記第2回動位置に配置されたときには、互いに非平行になって当接困難になり、前記動力の伝達を遮断する動力伝達面と、を備える遊技機である。